



No. 6-1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成27年度第3回

一般国道158号

えいへいじおおの
永平寺大野道路

【再評価】

平成27年11月
近畿地方整備局

目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)

1. 事業の概要

一般国道158号 永平寺大野道路

事業の目的

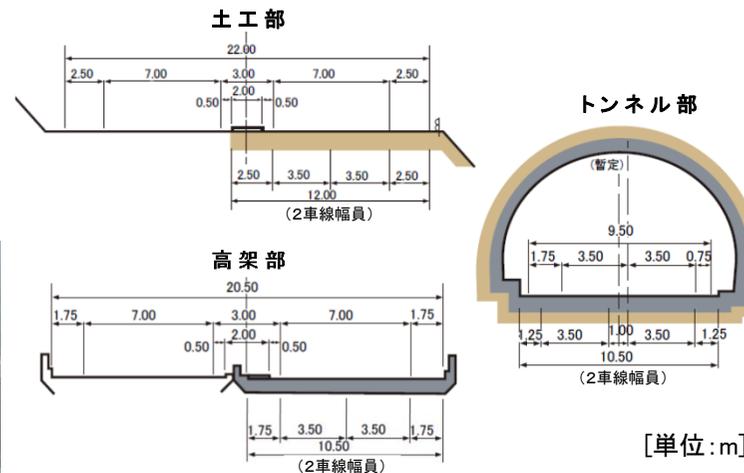
- 高速道路ネットワークの形成
- 災害時の代替路の確保
- 高度医療機関へのアクセス向上
- 地域の活性化

事業の概要・進捗状況

区間	おの なかつがわ (起) 福井県大野市中津川 ふくい げんしょうじまちょう (終) 福井県福井市玄正島町
道路延長	26.4km
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
標準幅員	22.0m
計画交通量	23,000台/日
全体事業費	1,491億円
事業化	平成2年度
都市計画決定	平成4年度
用地着手	平成5年度
工事着手	平成10年度
開通延長	21.1km(2車線)
事業進捗率	約94%(平成27年3月末現在)
用地取得率	約99%(面積ベース、同上)



標準横断図



福井北JCT-IC上空から永平寺町方向を望む



2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道158号 永平寺大野道路

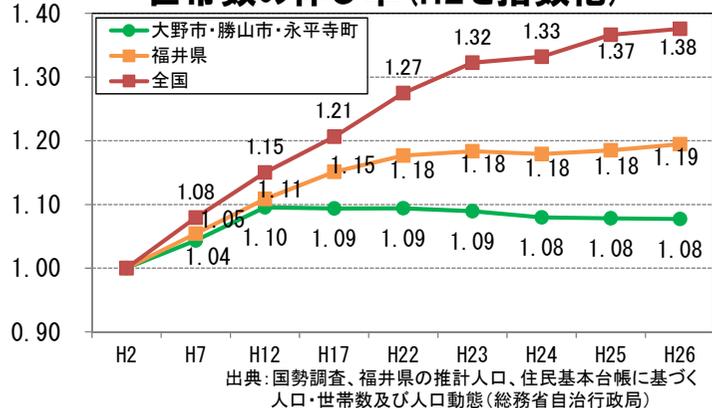
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 永平寺大野道路沿線の勝山市・大野市・永平寺町の人口は減少傾向であるものの、世帯数及び自動車保有台数は横ばい傾向。
- 隣接する大野油坂道路(大野・大野東区間)は平成27年4月から事業に着手。

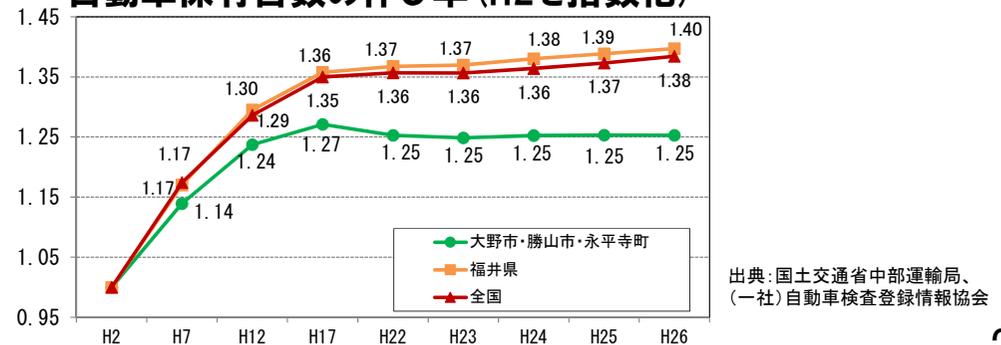
人口の伸び率 (H2を指数化)



世帯数の伸び率 (H2を指数化)



自動車保有台数の伸び率 (H2を指数化)



2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道158号 永平寺大野道路

2) 事業の整備効果(高速道路ネットワークの形成)

- 中部縦貫自動車道の整備により、東海北陸自動車道等を相互に連絡する高速道路ネットワークが形成され、福井市と首都圏とのアクセスが大幅に向上。
- 北陸・福井と中京圏の新たな高速ルート形成により、物流搬送等の信頼性が向上。

高速ネットワークの形成による拠点アクセス性の向上



中京圏との新たな高速ルートの形成



【拠点】福井 ↔ 首都圏

45分 短縮

例) 福井(市役所) - 東京(都庁)

- 現況(北陸道・名神・東名)
7時間30分 (516km)
- 整備後(中部縦貫道・東海北陸道・中部縦貫道・長野道・中央道)
6時間45分 (429km)

【拠点】北陸・福井 ↔ 中京圏

4分 短縮

例) 北陸・福井(福井北陸) - 中京圏(一宮JCT)

- 現況(北陸道・名神)
2時間05分 (150km)
- 整備後(中部縦貫道・東海北陸道)
2時間01分 (147km)

<所要時間の算出条件>

- ・現況:H22道路交通センサス(混雑時平均旅行速度)
- ・整備後:中部縦貫道:設計速度、その他の路線:H22道路交通センサス(混雑時平均旅行速度)

物流貨物事業者
※福井河川国道事務所調べ(H27.7)

物流搬送をする上で、北陸方面から名古屋へ向かうルートが増えることは、事故・災害時などにおいても安心して企業活動ができる。

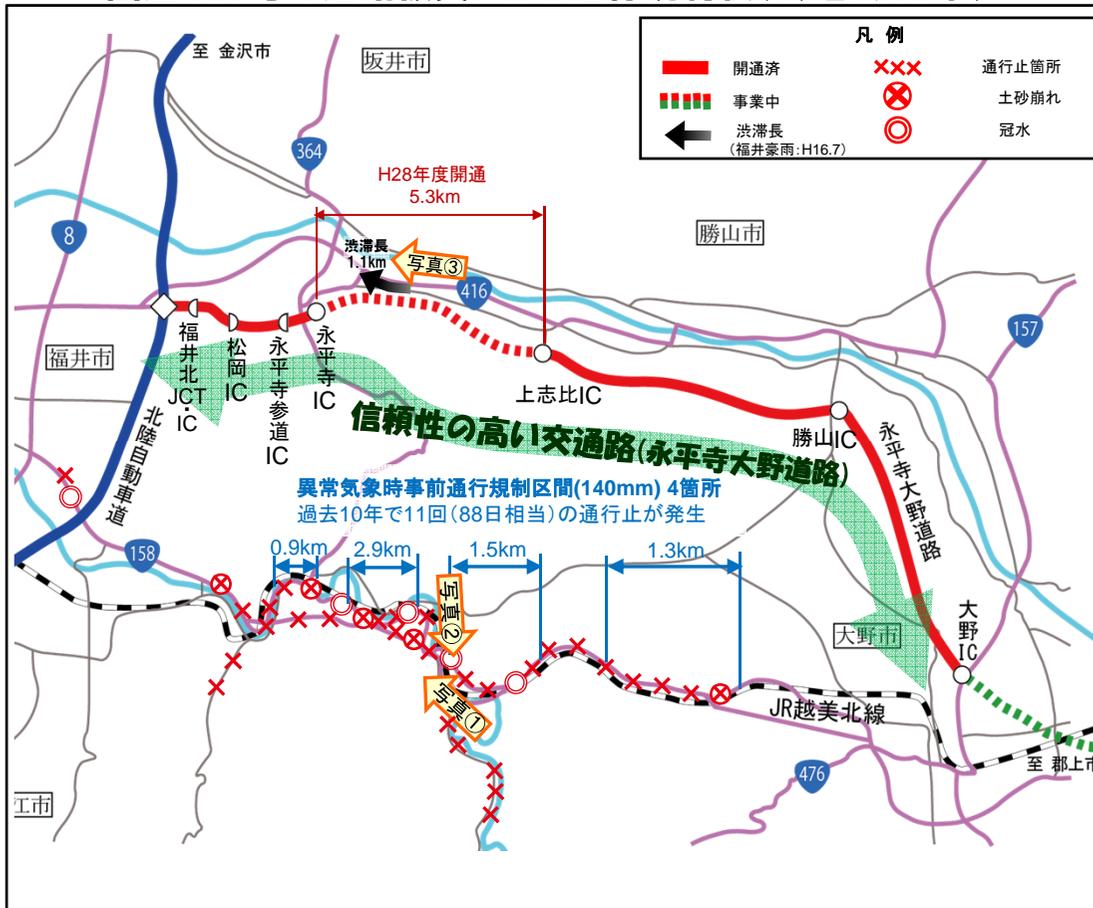
2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道158号 永平寺大野道路

2) 事業の整備効果(災害時の代替路の確保)

- 国道158号の福井市～大野市間では、過去10年で災害等による通行止めが11回(88日相当)発生。
- 平成16年7月の福井豪雨では、国道158号が約2日間にわたって通行不能となり、国道416号に迂回交通が集中し、著しい交通渋滞が発生。
- 永平寺大野道路の整備により、福井市～大野市間の信頼性の高い交通路の確保が可能。

国道158号の道路被災による通行規制状況(過去10年)



出典: 過去10年間の道路被災履歴(国土交通省調べ)

道路被災による通行止め履歴(過去10年)

NO	発生日	内容	規制内容	規制時間(H)
1	H16.7.18	法面崩落	全面通行止	45
2	H16.7.18	法面崩落	全面通行止	52
3	H16.7.18	冠水・崩土	全面通行止	52
4	H16.7.18	道路損壊	全面通行止	-
5	H16.10.20	道路被災	全面通行止	14
6	H18.7.18	法面崩壊のおそれ	全面通行止	575
7	H21.7.25	法面崩壊	全面通行止	1,334
8	H23.7.7	道路冠水	全面通行止	2
9	H23.7.7	道路冠水	全面通行止	6
10	H23.9.21	道路冠水	全面通行止	14
11	H23.12.8	道路被災	全面通行止	21
計				2,114
				日換算: 88日

◇ 福井豪雨(H16)では国道158号の多くの区間で冠水・崩落が発生!

写真① 国道158号 冠水・崩落



写真② 国道158号 崩落



写真③ 国道416号の交通渋滞



※ 国道158号の通行止により、迂回交通が集中し、著しい交通渋滞が発生

2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道158号 永平寺大野道路

2) 事業の整備効果(高度医療機関へのアクセス向上)

- 永平寺大野道路の整備により、第三次救急医療施設(福井県立病院)までの搬送時間が勝山市では現況39分から8分短縮、大野市では現況43分から9分短縮。
- 道路整備後は走行性の向上により、患者の負担軽減に寄与するほか、除雪・路面凍結対策、堆雪帯の確保等により冬季も含め安定した救急搬送路を確保。

救急医療活動へのアクセス性の支援

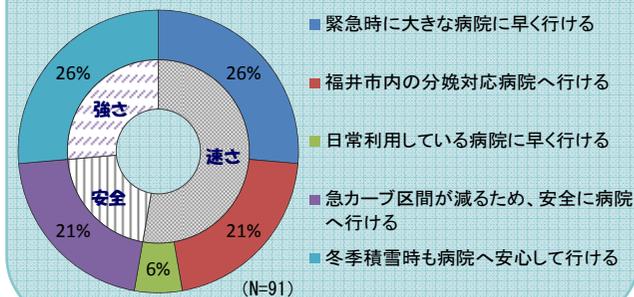


第三次救急医療施設へのアクセス向上



<所要時間の算出条件>
 ・現状: H22道路交通センサス (混雑時平均旅行速度)
 ・将来: 中部縦貫道: 設計速度
 その他の路線: H22道路
 交通センサス (混雑時平均旅行速度)

地域住民へのアンケート



大野市・勝山市の住民
 ※福井河川国道事務所調べ (H26.6)

・勝山市消防本部

道路整備による搬送時間の大幅な短縮に期待している。除雪、路面凍結などの冬季対策により、年間を通じて安定した救急搬送路を確保できることはありがたい。

・大野市消防本部

高速道路は走行性がよいため、患者への負担が少なく、交差点もないため、運転時のストレスの軽減も期待できる。また、冬季などに安定した交通路が確保できるのは大きい。



消防署救急隊員
 ※福井河川国道事務所調べ (H27.7)

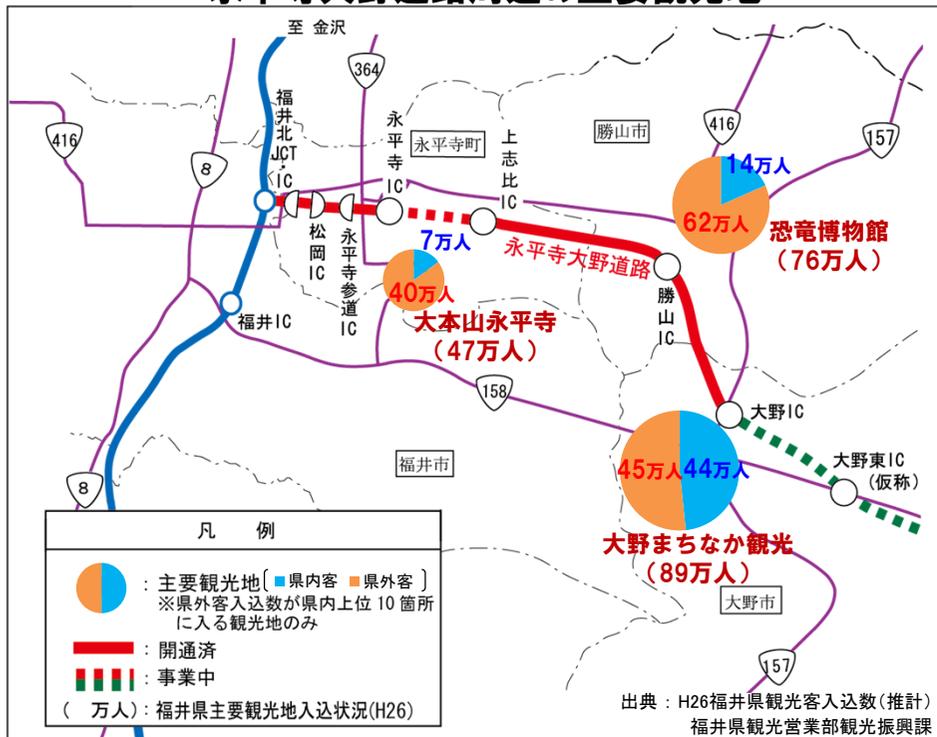
2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道158号 永平寺大野道路

2) 事業の整備効果(地域の活性化:観光)

- 福井県の観光入込数上位10施設の内、3施設が永平寺大野道路の周辺の施設であり、観光入込客数は増加傾向。
- 沿線を訪れる観光客の約9割が自動車を利用しており、観光地へのアクセス向上に寄与。

永平寺大野道路周辺の主要観光地



福井県主要観光地入込状況: 県外客(上位10施設)

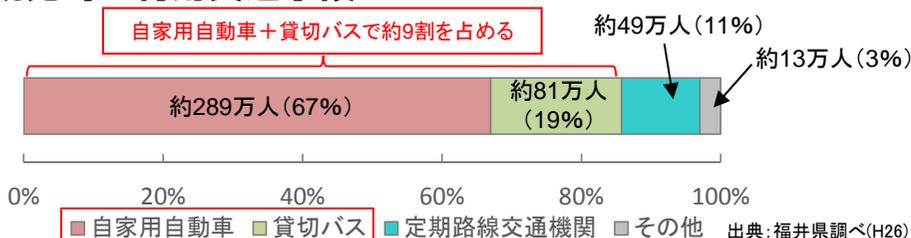


観光入込客数の推移(H18~H26)



観光時の利用交通手段

※大野市・勝山市・永平寺町への観光客の利用交通機関別入込客数



2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道158号 永平寺大野道路

3) 事業の投資効果

■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	2,386億円	362億円	125億円	2,873億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	1,743億円		180億円	1,923億円	

■ 算出条件等

基準年 : 平成27年度
 検討期間 : 50年間
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
 交通量の推計時点 : 平成42年度
 推計に用いた資料 : 平成17年度 道路交通センサス

適用した費用便益分析

マニュアル : 平成20年11月版
 事業費 : 1,491億円
 維持管理費 : 42百万円/km
 作成主体 : 近畿地方整備局

■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	1,624億円	229億円	89億円	1,942億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	215億円		180億円	395億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道158号 永平寺大野道路

4) 地域における計画等

■地域における計画

永平寺大野道路は、下記の計画に位置づけられています。

- 北陸圏広域地方計画[平成21年度～平成30年度](平成21年8月)
- 福井県民の将来ビジョン[平成23年度～平成32年度](平成22年12月)
- 永平寺町総合振興計画[平成20年度～平成29年度](平成20年3月)
- 第5次勝山市総合計画[平成23年度～平成32年度](平成23年3月)
- 第5次大野市総合計画前期基本計画[平成23年度～平成32年度](平成22年12月)
- 福井県新高速交通ネットワーク活用対策プラン[平成24年～平成28年](平成24年3月)
- 福井県地域防災計画(昭和38年8月)
- 福井県観光新戦略[平成27年～平成31年](平成27年)

■これまでの経緯

- ◆平成元年8月 中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会 設立
 - ・構成メンバー 福井県知事、福井市長、大野市長、勝山市長、永平寺町長
 - (最近の動向)
 - ・平成27年2月10日に国交省に対し、永平寺大野道路の早期全線開通を要望
 - ・平成27年7月8日に国交省に対し、永平寺大野道路の早期全線開通を要望
- ◆平成15年6月 中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会 設立
 - ・構成メンバー 岐阜県知事、福井県知事、石川県知事、富山県知事、長野県知事、山梨県知事
 - (最近の動向)
 - ・平成27年9月7日に国交省に対し、永平寺大野道路の早期全線開通を提言
- ◆福井県議会高規格道路建設促進議員連盟
 - (最近の動向)
 - ・平成27年8月4日に国交省に対し、永平寺大野道路の早期全線開通を要望

3. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道158号 永平寺大野道路

1) 事業の進捗状況

平成27年度事業内容

- ・現在、用地買収・改良工事・橋梁工事を実施しています。

進捗状況

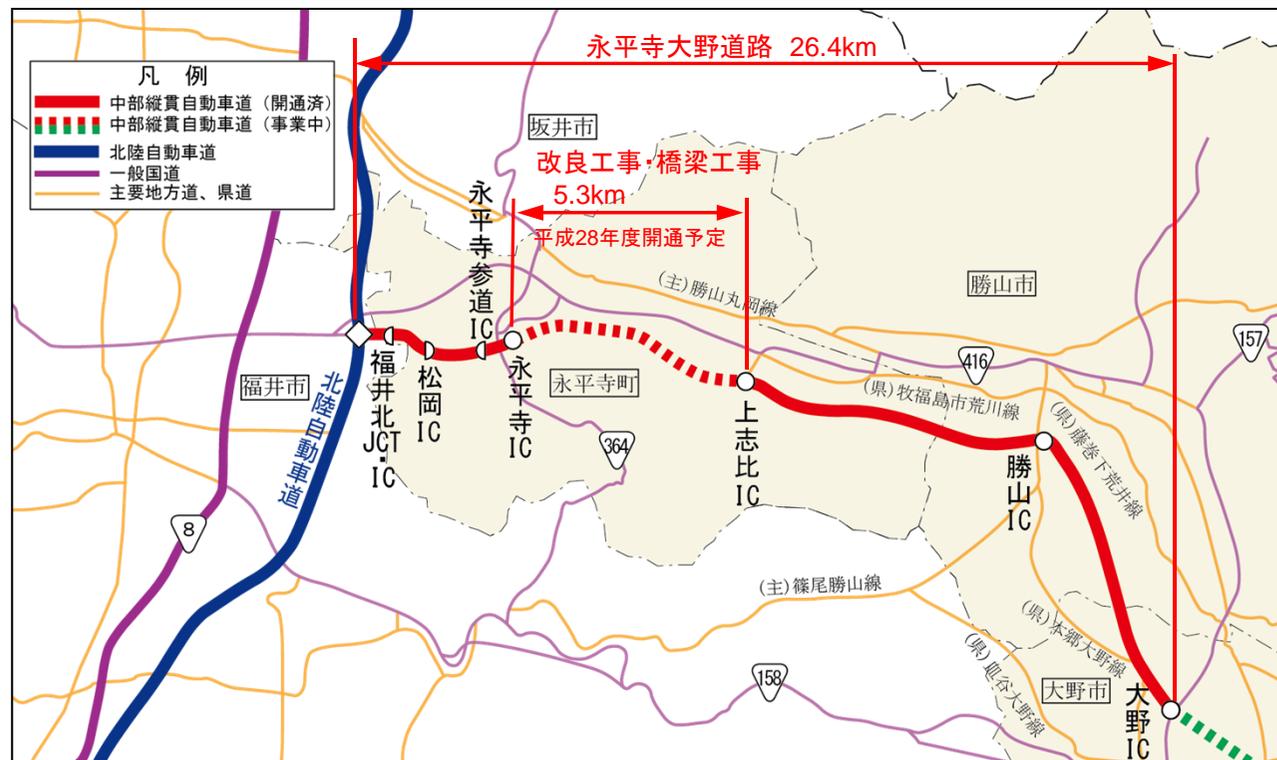
- ・平成26年度末までの進捗は、用地進捗率約99%（面積ベース）、事業進捗率約94%（事業費ベース）です。

事業進捗上の課題

- ・事業区間の詳細な地質調査等に基づき、切土法面の変状対策等の追加が生じたため、全体事業費の増額が必要。
- ・工程に影響する課題はありません。

2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き工事を推進し、平成28年度の2車線開通を目指します。



3. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道158号 永平寺大野道路

■事業費の増加要因

- 切土法面の掘削中にクラック及び法面変状が発生したため、恒久対策としてグランドアンカーを追加する必要が生じたことによる増。
- これまでの整備により生じた、トンネル断面パターンの見直しや地盤改良工の追加などについて、事業費を精査したことによる増。
- 上記のように、想定困難な事象が生じたことなどにより、全体事業費1,290億円に対し、約208億円の事業費増(約16%増)

単位：百万円

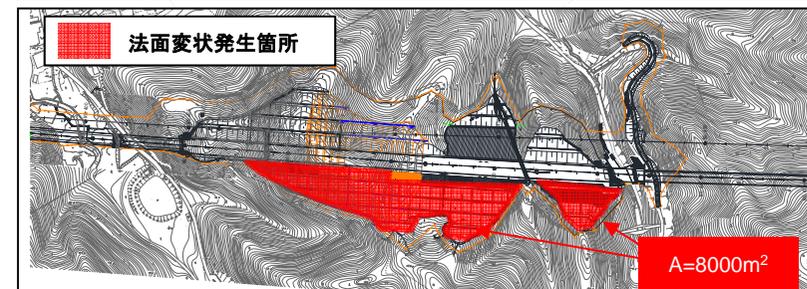
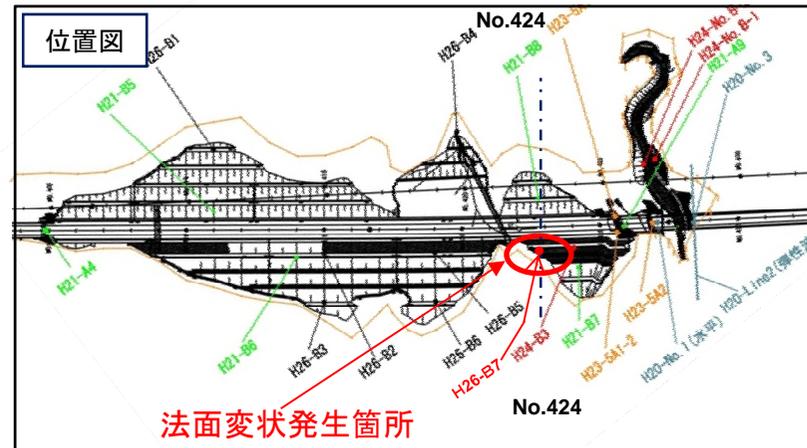
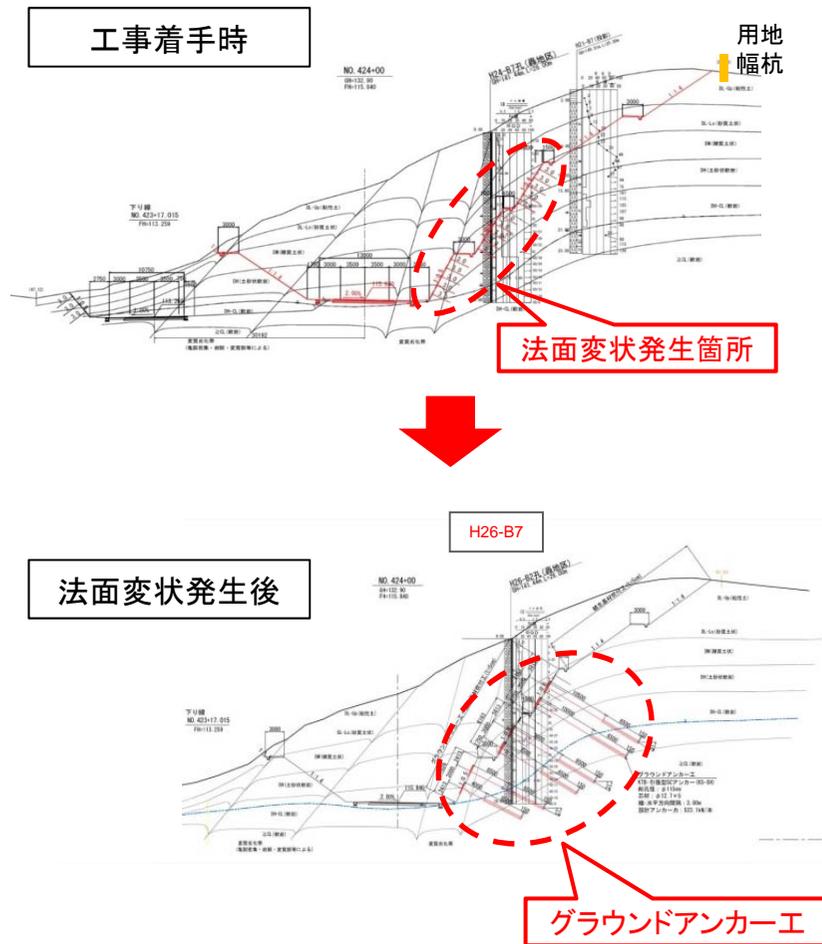
NO	主な増加理由	金額	備考
①	切土法面変状対策(轟地区) ^{どめき} による増(2車線整備時)	1,304	本線切土法面において発生した法面変状に対し、グランドアンカー工による対策を追加したことによる増。
②	トンネル断面パターンの見直し、地盤改良工の追加などについて、事業費を精査したことによる増	19,520	これまでの整備において、トンネル断面パターンの見直し、地盤改良工の追加、掘削部の土質区分の変更(土砂→軟岩)、埋蔵物が出土したことによる文化財本格調査の追加が生じたことなど、事業費を精査したことによる増。
	合計	20,824	

3. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道158号 永平寺大野道路

①切土法面変状対策(^{どめき}轟地区)による増(+13億円)

■ボーリング調査等に基づき、設計・施工を行ったところ、平成26年11月に突発的に法面変状が発生。
 ■応急対策として、大型土嚢等を設置したほか、恒久対策としてグラウンドアンカーを追加する必要が生じた。



変状発生状況(クラック発生)

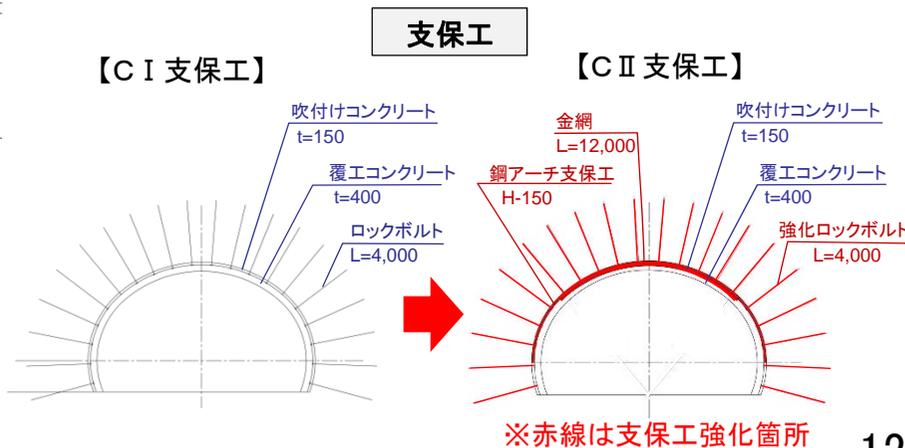
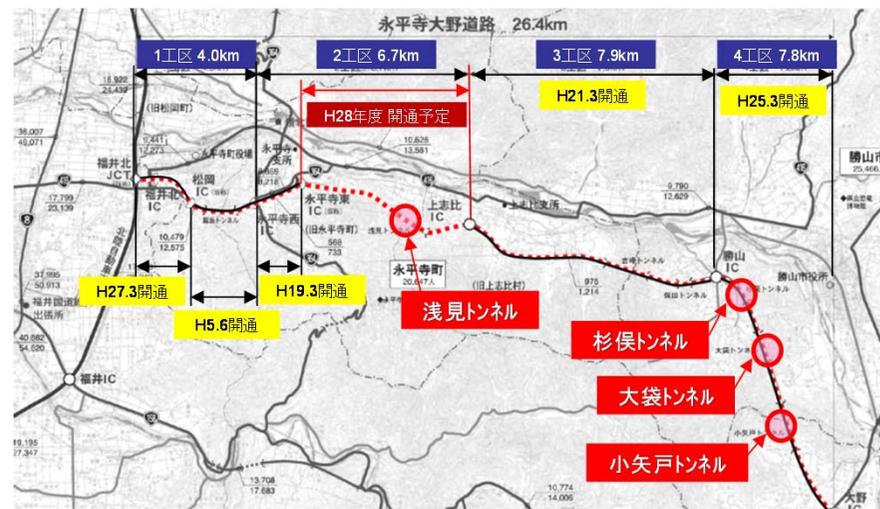
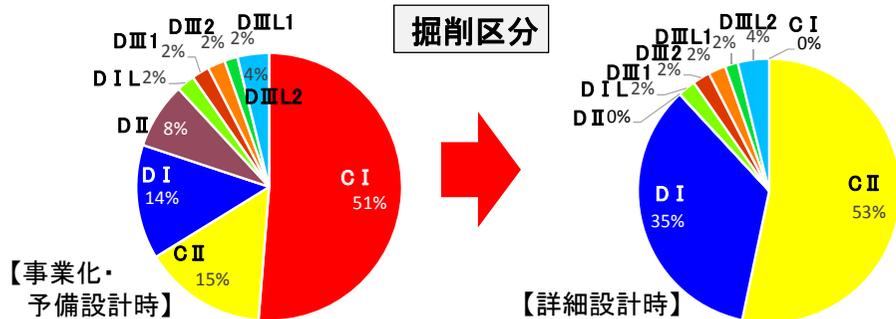
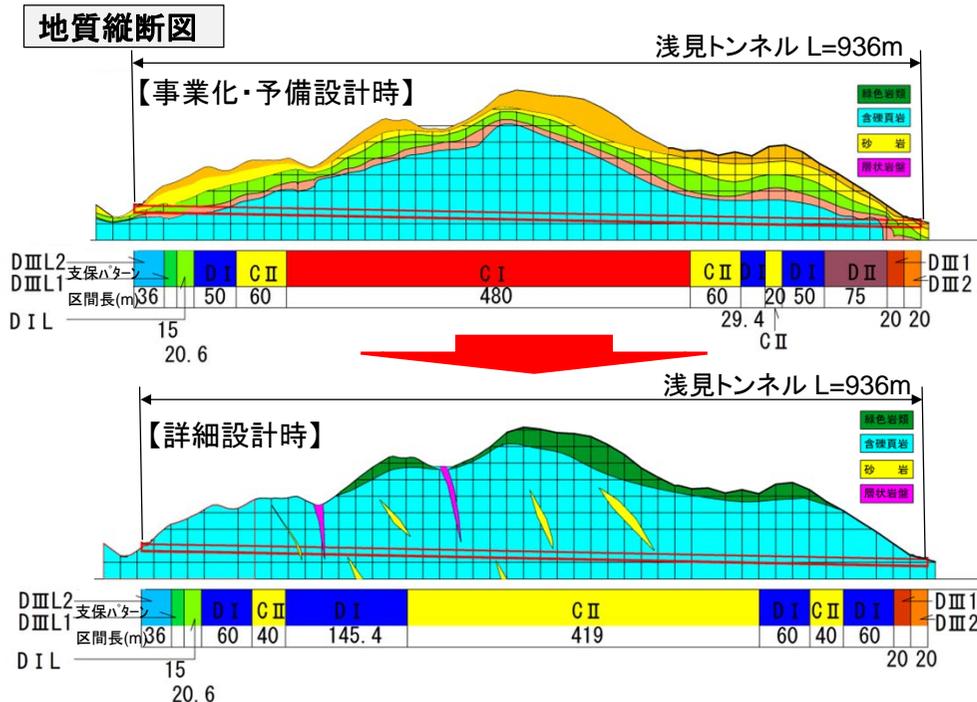


応急復旧状況

3. 事業の進捗の見込みの視点

②トンネル断面パターンの見直しによる増加(+70億円)

- 当初は現地踏査や地質図等の文献から地質を想定していたが、詳細な地質調査の結果、岩質が悪いことが判明し、支保工の強化を実施。
- 4車線整備時においても支保工を強化する必要が生じた。



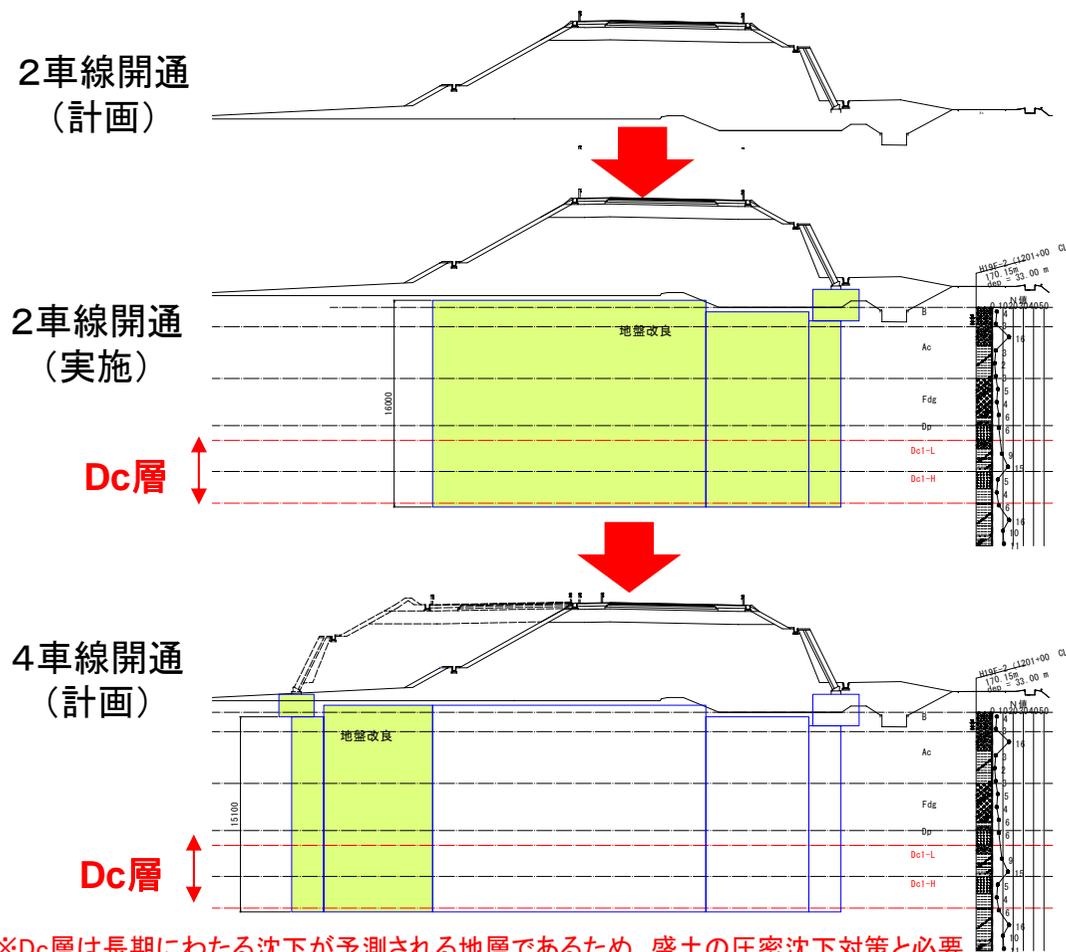
3. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道158号 永平寺大野道路

③事業費を精査したことによる増
盛土区間の地盤改良工の追加による増加(+59億円)

■当初計画時は地盤改良工は予見できなかったが、地質調査の結果、圧密沈下対策が必要となり、2車線整備時に約10mの地盤改良工を実施。

■4車線整備の盛土区間も、同様の地盤改良工を追加する必要が生じた。



永平寺大野道路【完成4車線整備時】地盤改良工 施工延長

				【m】	
工区別	2工区		4工区		合計
地区名	浅見	200	ひがしおそわぐち 東遅羽口	300	
			おおぶくろ 大袋	300	
			こやと 小矢戸	1,700	
小計	200	小計	2,300	2,500	

※Dc層は長期にわたる沈下が予測される地層であるため、盛土の圧密沈下対策と必要。
圧密沈下の影響が大きい、Dc層のN値10以下地層を対象に地盤改良工を施工する。

3. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道158号 永平寺大野道路

■コスト縮減の取り組み

○道路構造等の見直しにより、約7億円のコスト縮減。

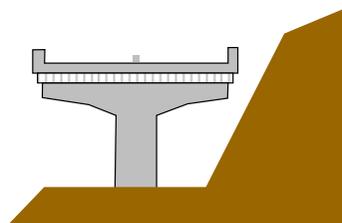
単位：百万円

NO	主な縮減理由	金額	備考
①	橋梁から盛土構造への変更	-350	・掘削土の有効利用として橋梁から盛土構造に変更による減
②	雪崩防止柵の取り止め	-140	・小段幅の確保が可能な区間の雪崩防止柵取り止めによる減
③	情報BOXの条数変更	-250	・情報BOXの管路の条数変更による減
	合計	-740	

①橋梁から盛土構造へ変更

光明寺2号橋を盛土に変更(▲3.5億円)

【橋梁】

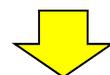


【盛土】



②雪崩防止柵の取り止め

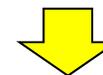
側道、幅広小段および法面勾配の確保できる箇所での設置を取り止める(▲1.4億円)



取り止め

③情報BOXの条数の変更

事業者に事前照会を行い、入構希望がなかった事業者分の管路設置を取り止め。管路の条数を9条から3条に変更(▲2.5億円)



管路の条数の変更

3. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道158号 永平寺大野道路

■全体事業費の増加

○約7億円のコスト縮減を図ったものの、切土法面对策等を追加する必要が生じたことなどにより、約208億円の事業費増が生じたため、事業全体で約201億円の増額が発生。

○全体事業費 1,290億円 ⇒ 1,491億円に増額(約16%増)

単位:百万円

NO	主な増減理由	金額	備考
①	切土法面変状対策(轟地区) ^{どめき} による増(2車線整備時)	1,304	本線切土法面において発生した法面変状に対し、グランドアンカー工による対策を追加したことによる増。
②	トンネル断面パターンの見直し、地盤改良工の追加などについて、事業費を精査したことによる増	19,520	これまでの整備において、トンネル断面パターンの見直し、地盤改良工の追加、掘削部の土質区分の変更(土砂→軟岩)、埋蔵物が出土したことによる文化財本格調査の追加が生じたことなど、事業費を精査したことによる増。
③	橋梁から盛土構造への変更	-350	橋梁から盛土構造への変更による減
④	雪崩防止柵の取り止め	-140	雪崩防止柵の取り止めによる減
⑤	情報BOXの条数の変更	-250	情報BOXの条数の変更による減
	合計	20,084	

4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点 一般国道158号 永平寺大野道路

永平寺大野道路は、高速道路ネットワークの形成・災害時の代替路の確保・高度医療施設へのアクセス向上・地域の活性化等を目的として、周辺の土地利用状況等を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺環境の保全を図っています。



今後も技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

5. 関係自治体の意見

一般国道158号 永平寺大野道路

■福井県知事

平成27年11月25日 土政推第231号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道158号永平寺大野道路の対応方針(原案)「事業継続」については異存ありません。

永平寺大野道路については、平成28年度の日も早い全線開通を図られるよう、必要な予算の確保と迅速な工事の実施をお願いしたい。

また、事業を進めるにあたり、コスト管理を厳正に行うとともに、建設発生土の利用等によるコスト縮減に最大限努めていただきたい。

6. 対応方針(原案)

一般国道158号 永平寺大野道路

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・中部縦貫自動車道の整備により、東海北陸自動車道等に連絡する高速道路ネットワークが形成され、首都圏とのアクセスが大幅に向上。
- ・北陸・福井と中京圏の新たな高速ルートの形成により、物流搬送等の信頼性が向上。
- ・国道158号は雨量による事前通行規制区間が存在し、永平寺大野道路の整備により、安定した交通路を確保。
- ・永平寺大野道路整備により、勝山市、大野市からの第三次緊急機関医療施設(福井県立病院)へのアクセスが向上し、冬季を含め安定した救急搬送路を確保。
- ・沿線を訪れる観光客の約9割が自動車を利用しており、観光地へのアクセス向上に寄与。
- ・費用便益比(B/C)は事業全体で1.5、残事業費で4.9。

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・現在、改良工事、橋梁工事を推進。
- ・引き続き事業を推進し、平成28年度の2車線開通を目指す。

永平寺大野道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、平成28年度の2車線開通を目指すことが適切である。

事業継続



No. 6-2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成27年度第3回

一般国道158号
えいへいじおおの
永平寺大野道路
【再評価】

平成27年11月
近畿地方整備局

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道158号 永平寺大野道路
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 949億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.5%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 4.9 (経済的純現在価値 (B-C) = 1547億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 26.8%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 78528万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 453万人・時間/年 (148365万人・時間/年 ⇒ 147912万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について : 一般国道416号 一般国道158号 一般国道157号 勝山丸岡線 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 333万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 6割削減
		■ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道157号 (勝山市平泉寺町) (旅行速度16.4km/h→20km/h)、 国道158号 (大野市犬山) (旅行速度19.5km/h→20km/h) 国道476号大野市明倫町 (旅行速度19.9km/h、19.1km/h、13.7km/h→20km/h)
		■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	京福バス (大野線、池田線)、永平寺コミュニティバス
		□ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		
	物流効率化の支援	□ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	大野市・勝山市 (さといも)、主な出荷先 : 京阪神方面
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である		
	□ 三大都市圏の環状道路を形成する		
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		

1. 活カ	国土・地域ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する 	長野県松本市～福井県福井市間を結ぶ中部縦貫自動車道の一部を構成する
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する 	大野市～福井市 (所要時間: 41分→37分)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる 	勝山市～福井市 (所要時間: 48分→34分)
	個性ある地域の形成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する 	越前美濃街道広域観光交流の支援、大野市和泉地区化石保全活用計画、越前おおのブランド戦略、福井しあわせ元気国体 (H30開催)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する 	大野まちなか観光 (年間観光客入込数 (H26) : 893,000人) 恐竜博物館・かつやま恐竜の森 (年間観光客入込数 (H26) : 761,000人) 大本山永平寺 (年間観光客入込数 (H26) : 473,000人)
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である 	
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 	勝山市～福井県立病院 (所要時間: 38分→31分)、大野市～福井県立病院 (所要時間: 40分→34分)
3. 安全	安全な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる 	国道476号 大野市弥生町付近 死傷事故率516.3件/億台キロ 国道476号 大野市明倫町付近 死傷事故率516.3件/億台キロ、860.5件/億台キロ
		災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線 (以下「緊急輸送道路」という) として位置づけあり
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する 	国道416号 (福井市～勝山市)、国道157号 (勝山市～大野市)、国道158号 (福井市～大野市)	
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する 	事前通行規制区間 国道158号 福井市三万谷町～田尻町区間、福井市奈良瀬町～小清水町区間、福井市美山町～薬師町区間、福井市大宮町～計石町区間	
4. 環境	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 	G02排出削減量: 20720.41t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率 	(推計結果) 評価対象区間 (現道/平行区間等) : 一般国道416号 一般国道158号 一般国道157号 勝山丸岡線 排出削減量: 104.07t/年、排出削減率: 5割削減 (バイパス事業の場合) バイパス等についてNOx排出増加量: 148.1t/年
		<ul style="list-style-type: none"> ● 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率 	(推計結果) 評価対象区間 (現道/平行区間等) : 一般国道416号 一般国道158号 一般国道157号 勝山丸岡線 排出削減量: 5.97t/年、排出削減率: 5割削減 (バイパス事業の場合) バイパス等についてSPM排出増加量: 6.66t/年
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される 	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される 	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道158号	永平寺大野道路	L=26.4km	高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
23,000	4車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成27年度		
単純合計	1,419億円	510億円	1,928億円
うち残事業分	244億円	510億円	754億円
基準年における 現在価値 (C)	1,743億円	180億円	1,923億円
うち残事業分	215億円	180億円	395億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成27年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	148億円	22億円	7.9億円	178億円
基準年における 現在価値 (B)	2,386億円	362億円	125億円	2,873億円
うち残事業分	1,624億円	229億円	89億円	1,942億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.5
経済的純現在価値（事業全体）	949億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.5%
費用便益比（残事業）	4.9
経済的純現在価値（残事業）	1,547億円
経済的内部収益率（残事業）	26.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	23,000台/日	±10%	1.2~1.8
事業費	244億円	±10%	1.5~1.5
事業期間	5年	±20%	1.4~1.6

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	23,000台/日	±10%	4.1~5.9
事業費	244億円	±10%	4.7~5.2
事業期間	5年	±20%	4.8~5.0

交通状況の変化

様式-3①

事業名：永平寺大野道路（事業全体）

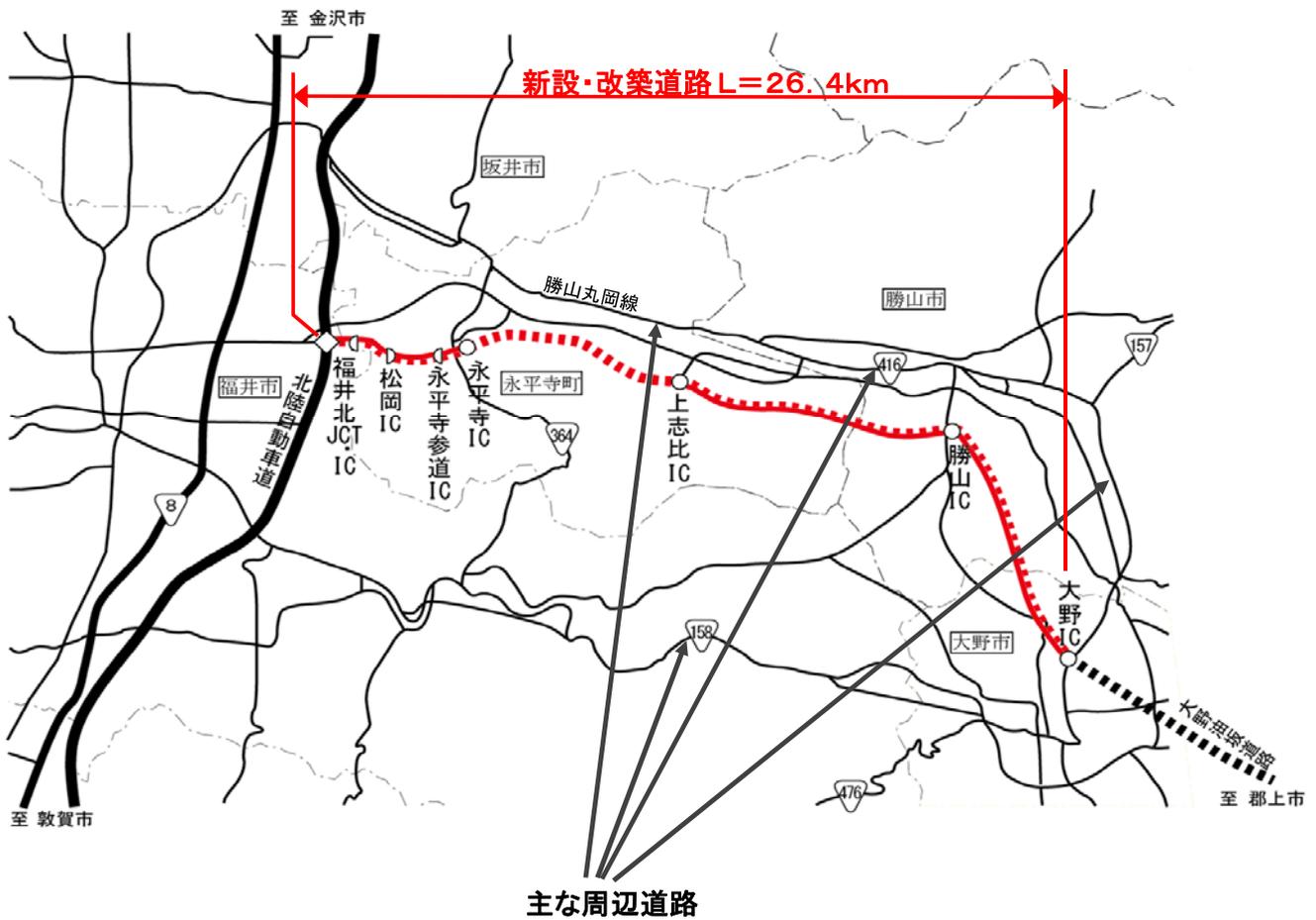
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (26.4km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	20,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	20	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	75.48	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道416号 (20.8km)	交通量	[台/日]	17,000	11,400
		走行時間	[分]	45	37
		走行時間費用	[億円/年]	133.50	74.08
	一般国道158号 (35.7km)	交通量	[台/日]	14,200	9,300
		走行時間	[分]	64	57
		走行時間費用	[億円/年]	158.90	88.34
	一般国道157号 (7.9km)	交通量	[台/日]	10,300	7,900
		走行時間	[分]	13	12
		走行時間費用	[億円/年]	24.28	17.49
	勝山丸岡線 (9.2km)	交通量	[台/日]	2,400	800
		走行時間	[分]	17	16
		走行時間費用	[億円/年]	7.16	2.11
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (25,397.2km)	走行時間費用	[億円/年]	173,676.53	173,591.05	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：25,497.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	174,000.38	173,848.55	151.83

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：永平寺大野道路（残事業）

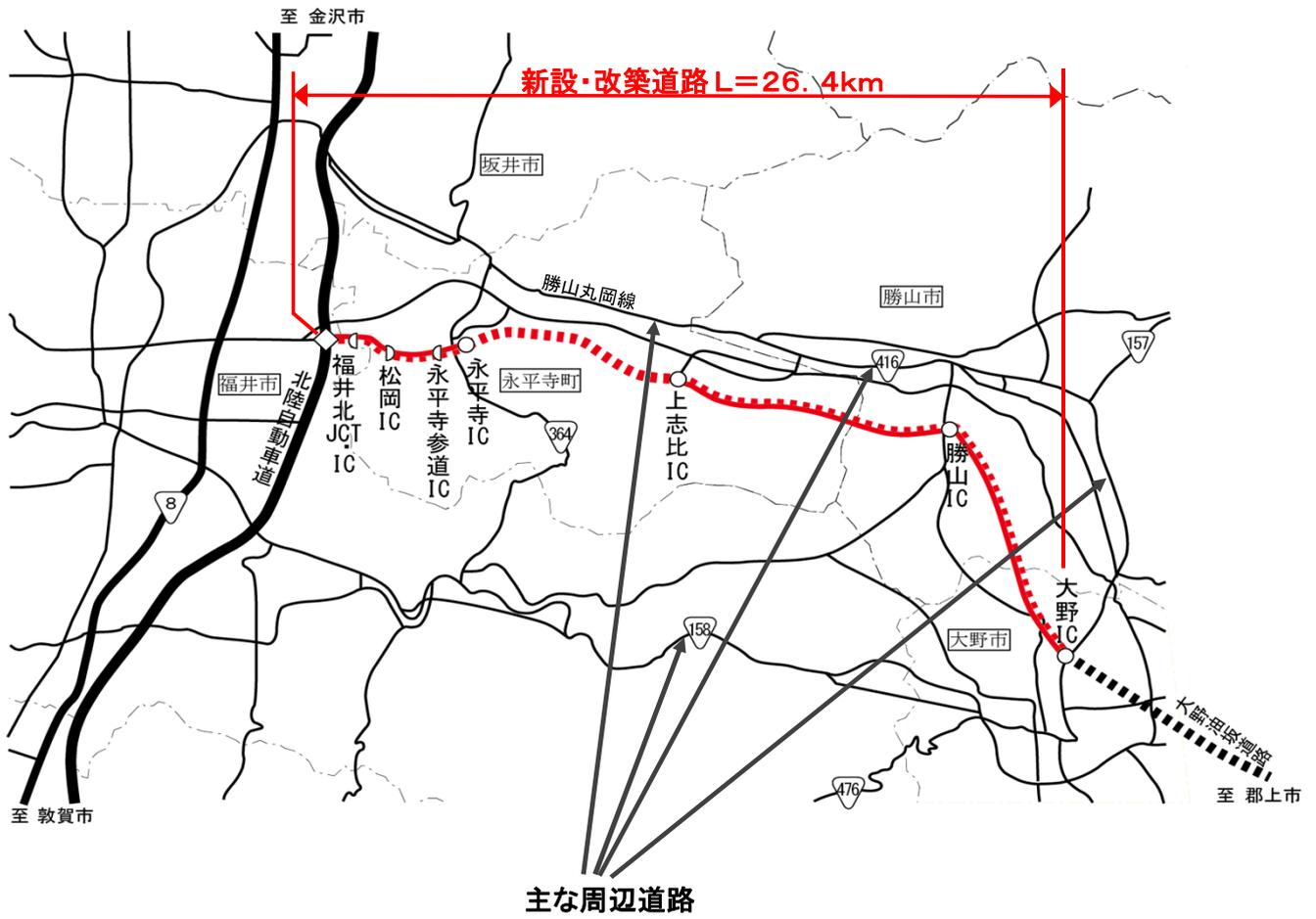
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (26.4km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	7,100	20,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	17	20	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	22.95	75.48	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道416号 (20.8km)	交通量	[台/日]	15,700	11,400
		走行時間	[分]	43	37
		走行時間費用	[億円/年]	117.09	74.08
	一般国道158号 (35.7km)	交通量	[台/日]	12,500	9,300
		走行時間	[分]	61	57
		走行時間費用	[億円/年]	132.60	88.34
	一般国道157号 (7.9km)	交通量	[台/日]	7,900	7,900
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	17.37	17.49
	勝山丸岡線 (9.2km)	交通量	[台/日]	2,500	800
		走行時間	[分]	17	16
		走行時間費用	[億円/年]	7.63	2.11
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (25,397.2km)	走行時間費用	[億円/年]	173,654.31	173,591.05	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：25,497.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	173,951.95	173,848.55	103.40

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：永平寺大野道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成27年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道158号 永平寺大野道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.42	26.4	11.01

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-31年目	H 2	2.6658	106.5	0.97	2.21		
-30年目	H 3	2.5633	109.1	1.01	2.16		
-29年目	H 4	2.4647	110.6	1.11	2.25		
-28年目	H 5	2.3699	110.9	2.94	5.73		
-27年目	H 6	2.2788	110.8	12.51	23.43		
-26年目	H 7	2.1911	109.9	16.00	29.06		
-25年目	H 8	2.1068	109.5	13.12	23.00		
-24年目	H 9	2.0258	110.4	34.97	58.46		
-23年目	H 10	1.9479	109.9	40.91	66.06		
-22年目	H 11	1.8730	108.4	51.19	80.58		
-21年目	H 12	1.8009	107.2	61.10	93.51		
-20年目	H 13	1.7317	105.7	50.49	75.36		
-19年目	H 14	1.6651	103.8	33.87	49.50		
-18年目	H 15	1.6010	102.3	43.72	62.33		
-17年目	H 16	1.5395	101.0	51.76	71.88		
-16年目	H 17	1.4802	99.6	36.78	49.80		
-15年目	H 18	1.4233	98.7	44.76	58.80		
-14年目	H 19	1.3686	97.6	88.64	113.23		
-13年目	H 20	1.3159	96.8	73.93	91.56		
-12年目	H 21	1.2653	95.6	79.60	95.97		
-11年目	H 22	1.2167	93.7	101.93	120.58		
-10年目	H 23	1.1699	92.1	79.19	91.64		
-9年目	H 24	1.1249	91.3	119.27	133.88		
-8年目	H 25	1.0816	91.1	75.38	81.53		
-7年目	H 26	1.0400	91.1	45.74	47.57		
-6年目	H 27	1.0000	91.1	14.03	14.03		
-5年目	H 28	0.9615	91.1	37.12	35.69		
-4年目	H 29	0.9246	91.1	10.61	9.81		
-3年目	H 30	0.8890	91.1	84.77	75.36		
-2年目	H 31	0.8548	91.1	87.05	74.41		
-1年目	H 32	0.8219	91.1	24.28	19.95		
供用開始年次	H 33	0.7903	91.1			10.19	8.06
1年目	H 34	0.7599	91.1			10.19	7.75
2年目	H 35	0.7307	91.1			10.19	7.45
3年目	H 36	0.7026	91.1			10.19	7.16
4年目	H 37	0.6756	91.1			10.19	6.89
5年目	H 38	0.6496	91.1			10.19	6.62
6年目	H 39	0.6246	91.1			10.19	6.37
7年目	H 40	0.6006	91.1			10.19	6.12
8年目	H 41	0.5775	91.1			10.19	5.89
9年目	H 42	0.5553	91.1			10.19	5.66
10年目	H 43	0.5339	91.1			10.19	5.44
11年目	H 44	0.5134	91.1			10.19	5.23
12年目	H 45	0.4936	91.1			10.19	5.03
13年目	H 46	0.4746	91.1			10.19	4.84
14年目	H 47	0.4564	91.1			10.19	4.65
15年目	H 48	0.4388	91.1			10.19	4.47
16年目	H 49	0.4220	91.1			10.19	4.30
17年目	H 50	0.4057	91.1			10.19	4.14
18年目	H 51	0.3901	91.1			10.19	3.98
19年目	H 52	0.3751	91.1			10.19	3.82
20年目	H 53	0.3607	91.1			10.19	3.68
21年目	H 54	0.3468	91.1			10.19	3.54
22年目	H 55	0.3335	91.1			10.19	3.40
23年目	H 56	0.3207	91.1			10.19	3.27
24年目	H 57	0.3083	91.1			10.19	3.14
25年目	H 58	0.2965	91.1			10.19	3.02
26年目	H 59	0.2851	91.1			10.19	2.91
27年目	H 60	0.2741	91.1			10.19	2.79

28年目	H	61	0.2636	91.1			10.19	2.69
29年目	H	62	0.2534	91.1			10.19	2.58
30年目	H	63	0.2437	91.1			10.19	2.48
31年目	H	64	0.2343	91.1			10.19	2.39
32年目	H	65	0.2253	91.1			10.19	2.30
33年目	H	66	0.2166	91.1			10.19	2.21
34年目	H	67	0.2083	91.1			10.19	2.12
35年目	H	68	0.2003	91.1			10.19	2.04
36年目	H	69	0.1926	91.1			10.19	1.96
37年目	H	70	0.1852	91.1			10.19	1.89
38年目	H	71	0.1780	91.1			10.19	1.81
39年目	H	72	0.1712	91.1			10.19	1.75
40年目	H	73	0.1646	91.1			10.19	1.68
41年目	H	74	0.1583	91.1			10.19	1.61
42年目	H	75	0.1522	91.1			10.19	1.55
43年目	H	76	0.1463	91.1			10.19	1.49
44年目	H	77	0.1407	91.1			10.19	1.43
45年目	H	78	0.1353	91.1			10.19	1.38
46年目	H	79	0.1301	91.1			10.19	1.33
47年目	H	80	0.1251	91.1			10.19	1.28
48年目	H	81	0.1203	91.1			10.19	1.23
49年目	H	82	0.1157	91.1	-139.76	-16.17	10.19	1.18
合計					1278.99	1743.16	509.72	180.00
単純事業費計					1418.75		509.72	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道158号 永平寺大野道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.42	26.4	11.01

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-5年目	H 28	0.9615	91.1	37.12	35.69		
-4年目	H 29	0.9246	91.1	10.61	9.81		
-3年目	H 30	0.8890	91.1	84.77	75.36		
-2年目	H 31	0.8548	91.1	87.05	74.41		
-1年目	H 32	0.8219	91.1	24.28	19.95		
供用開始年次	H 33	0.7903	91.1			10.19	8.06
1年目	H 34	0.7599	91.1			10.19	7.75
2年目	H 35	0.7307	91.1			10.19	7.45
3年目	H 36	0.7026	91.1			10.19	7.16
4年目	H 37	0.6756	91.1			10.19	6.89
5年目	H 38	0.6496	91.1			10.19	6.62
6年目	H 39	0.6246	91.1			10.19	6.37
7年目	H 40	0.6006	91.1			10.19	6.12
8年目	H 41	0.5775	91.1			10.19	5.89
9年目	H 42	0.5553	91.1			10.19	5.66
10年目	H 43	0.5339	91.1			10.19	5.44
11年目	H 44	0.5134	91.1			10.19	5.23
12年目	H 45	0.4936	91.1			10.19	5.03
13年目	H 46	0.4746	91.1			10.19	4.84
14年目	H 47	0.4564	91.1			10.19	4.65
15年目	H 48	0.4388	91.1			10.19	4.47
16年目	H 49	0.4220	91.1			10.19	4.30
17年目	H 50	0.4057	91.1			10.19	4.14
18年目	H 51	0.3901	91.1			10.19	3.98
19年目	H 52	0.3751	91.1			10.19	3.82
20年目	H 53	0.3607	91.1			10.19	3.68
21年目	H 54	0.3468	91.1			10.19	3.54
22年目	H 55	0.3335	91.1			10.19	3.40
23年目	H 56	0.3207	91.1			10.19	3.27
24年目	H 57	0.3083	91.1			10.19	3.14
25年目	H 58	0.2965	91.1			10.19	3.02
26年目	H 59	0.2851	91.1			10.19	2.91
27年目	H 60	0.2741	91.1			10.19	2.79
28年目	H 61	0.2636	91.1			10.19	2.69
29年目	H 62	0.2534	91.1			10.19	2.58
30年目	H 63	0.2437	91.1			10.19	2.48
31年目	H 64	0.2343	91.1			10.19	2.39
32年目	H 65	0.2253	91.1			10.19	2.30
33年目	H 66	0.2166	91.1			10.19	2.21
34年目	H 67	0.2083	91.1			10.19	2.12
35年目	H 68	0.2003	91.1			10.19	2.04
36年目	H 69	0.1926	91.1			10.19	1.96
37年目	H 70	0.1852	91.1			10.19	1.89
38年目	H 71	0.1780	91.1			10.19	1.81
39年目	H 72	0.1712	91.1			10.19	1.75
40年目	H 73	0.1646	91.1			10.19	1.68
41年目	H 74	0.1583	91.1			10.19	1.61
42年目	H 75	0.1522	91.1			10.19	1.55
43年目	H 76	0.1463	91.1			10.19	1.49
44年目	H 77	0.1407	91.1			10.19	1.43
45年目	H 78	0.1353	91.1			10.19	1.38
46年目	H 79	0.1301	91.1			10.19	1.33
47年目	H 80	0.1251	91.1			10.19	1.28
48年目	H 81	0.1203	91.1			10.19	1.23
49年目	H 82	0.1157	91.1	-0.23	-0.03	10.19	1.18
合計				243.59	215.19	509.72	180.00
単純事業費計				243.82		509.72	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道158号 永平寺大野道路

年次	年度 (基準年) H 27	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合 計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	0.99899	0.99548	1.01547	1.00136	0.7903	91.1	87.49	20.33	40.06	147.87	109.98	11.99	2.03	7.94	21.96	16.34	7.90	5.88	177.74	132.20
1年目	H 34	0.99899	0.99546	1.01523	1.00136	0.7599	91.1	87.40	20.24	40.68	148.31	106.07	11.98	2.02	8.06	22.07	15.78	7.91	5.66	178.29	127.51
2年目	H 35	0.99898	0.99544	1.01501	1.00136	0.7307	91.1	87.31	20.15	41.30	148.75	102.29	11.97	2.01	8.18	22.17	15.24	7.92	5.45	178.85	122.99
3年目	H 36	0.99898	0.99542	1.01478	1.00135	0.7026	91.1	87.22	20.06	41.92	149.19	98.65	11.96	2.00	8.31	22.27	14.72	7.94	5.25	179.40	118.62
4年目	H 37	0.99898	0.99540	1.01457	1.00135	0.6756	91.1	87.13	19.96	42.54	149.63	95.14	11.95	1.99	8.43	22.37	14.22	7.95	5.05	179.95	114.41
5年目	H 38	0.99898	0.99538	1.01436	1.00135	0.6496	91.1	87.04	19.87	43.15	150.07	91.74	11.93	1.98	8.55	22.47	13.74	7.96	4.86	180.50	110.35
6年目	H 39	0.99898	0.99536	1.01416	1.00135	0.6246	91.1	86.95	19.78	43.77	150.51	88.47	11.92	1.98	8.68	22.57	13.27	7.97	4.68	181.05	106.42
7年目	H 40	0.99898	0.99533	1.01396	1.00135	0.6006	91.1	86.87	19.69	44.39	150.95	85.32	11.91	1.97	8.80	22.67	12.82	7.98	4.51	181.60	102.65
8年目	H 41	0.99898	0.99531	1.01377	1.00135	0.5775	91.1	86.78	19.60	45.01	151.39	82.28	11.90	1.96	8.92	22.78	12.38	7.99	4.34	182.15	99.00
9年目	H 42	0.99147	0.99369	1.00195	0.99395	0.5553	91.1	86.69	19.50	45.63	151.83	79.34	11.89	1.95	9.04	22.88	11.96	8.00	4.18	182.70	95.48
10年目	H 43	0.99140	0.99365	1.00195	0.99391	0.5339	91.1	85.95	19.38	45.72	151.05	75.90	11.78	1.94	9.06	22.78	11.45	7.95	4.00	181.79	91.34
11年目	H 44	0.99132	0.99361	1.00195	0.99387	0.5134	91.1	85.21	19.26	45.81	150.28	72.61	11.68	1.92	9.08	22.69	10.96	7.90	3.82	180.87	87.39
12年目	H 45	0.99125	0.99357	1.00194	0.99384	0.4936	91.1	84.47	19.14	45.90	149.51	69.45	11.58	1.91	9.10	22.59	10.49	7.85	3.65	179.95	83.59
13年目	H 46	0.99117	0.99353	1.00194	0.99380	0.4746	91.1	83.73	19.01	45.99	148.73	66.43	11.48	1.90	9.11	22.49	10.05	7.81	3.49	179.03	79.97
14年目	H 47	0.99109	0.99348	1.00194	0.99376	0.4564	91.1	82.99	18.89	46.08	147.96	63.55	11.38	1.89	9.13	22.40	9.62	7.76	3.33	178.12	76.51
15年目	H 48	0.99101	0.99344	1.00193	0.99372	0.4388	91.1	82.25	18.77	46.17	147.19	60.78	11.28	1.87	9.15	22.30	9.21	7.71	3.18	177.20	73.18
16年目	H 49	0.99093	0.99340	1.00193	0.99368	0.4220	91.1	81.51	18.64	46.26	146.41	58.15	11.18	1.86	9.17	22.21	8.82	7.66	3.04	176.28	70.01
17年目	H 50	0.99085	0.99335	1.00192	0.99364	0.4057	91.1	80.77	18.52	46.35	145.64	55.61	11.07	1.85	9.19	22.11	8.44	7.61	2.91	175.36	66.96
18年目	H 51	0.99076	0.99331	1.00192	0.99360	0.3901	91.1	80.03	18.40	46.44	144.87	53.19	10.97	1.84	9.20	22.01	8.08	7.56	2.78	174.45	64.04
19年目	H 52	0.99068	0.99327	1.00192	0.99356	0.3751	91.1	79.30	18.27	46.53	144.09	50.87	10.87	1.83	9.22	21.92	7.74	7.52	2.65	173.53	61.26
20年目	H 53	0.99059	0.99322	1.00191	0.99352	0.3607	91.1	78.56	18.15	46.62	143.32	48.65	10.77	1.81	9.24	21.82	7.41	7.47	2.53	172.61	58.59
21年目	H 54	0.99050	0.99317	1.00191	0.99347	0.3468	91.1	77.82	18.03	46.70	142.55	46.52	10.67	1.80	9.26	21.73	7.09	7.42	2.42	171.69	56.04
22年目	H 55	0.99041	0.99313	1.00191	0.99343	0.3335	91.1	77.08	17.90	46.79	141.78	44.50	10.57	1.79	9.27	21.63	6.79	7.37	2.31	170.78	53.60
23年目	H 56	0.99032	0.99308	1.00190	0.99339	0.3207	91.1	76.34	17.78	46.88	141.00	42.56	10.47	1.78	9.29	21.53	6.50	7.32	2.21	169.86	51.27
24年目	H 57	0.99022	0.99303	1.00190	0.99334	0.3083	91.1	75.60	17.66	46.97	140.23	40.69	10.36	1.76	9.31	21.44	6.22	7.27	2.11	168.94	49.02
25年目	H 58	0.99013	0.99298	1.00189	0.99330	0.2965	91.1	74.86	17.54	47.06	139.46	38.91	10.26	1.75	9.33	21.34	5.96	7.23	2.02	168.02	46.89
26年目	H 59	0.99003	0.99293	1.00189	0.99325	0.2851	91.1	74.12	17.41	47.15	138.68	37.21	10.16	1.74	9.34	21.25	5.70	7.18	1.93	167.11	44.84
27年目	H 60	0.98993	0.99288	1.00189	0.99321	0.2741	91.1	73.38	17.29	47.24	137.91	35.58	10.06	1.73	9.36	21.15	5.46	7.13	1.84	166.19	42.87
28年目	H 61	0.98982	0.99283	1.00188	0.99316	0.2636	91.1	72.64	17.17	47.33	137.14	34.02	9.96	1.71	9.38	21.05	5.22	7.08	1.76	165.27	41.00
29年目	H 62	0.98972	0.99278	1.00188	0.99311	0.2534	91.1	71.90	17.04	47.42	136.36	32.52	9.86	1.70	9.40	20.96	5.00	7.03	1.68	164.35	39.19
30年目	H 63	0.98961	0.99273	1.00188	0.99307	0.2437	91.1	71.16	16.92	47.51	135.59	31.10	9.76	1.69	9.42	20.86	4.78	6.98	1.60	163.44	37.48
31年目	H 64	0.98950	0.99267	1.00187	0.99302	0.2343	91.1	70.43	16.80	47.60	134.82	29.73	9.66	1.68	9.43	20.77	4.58	6.93	1.53	162.52	35.84
32年目	H 65	0.98939	0.99262	1.00187	0.99297	0.2253	91.1	69.69	16.67	47.68	134.04	28.42	9.55	1.67	9.45	20.67	4.38	6.89	1.46	161.60	34.26
33年目	H 66	0.98928	0.99256	1.00187	0.99292	0.2166	91.1	68.95	16.55	47.77	133.27	27.17	9.45	1.65	9.47	20.57	4.19	6.84	1.39	160.68	32.75
34年目	H 67	0.98916	0.99251	1.00186	0.99287	0.2083	91.1	68.21	16.43	47.86	132.50	25.97	9.35	1.64	9.49	20.48	4.01	6.79	1.33	159.77	31.32
35年目	H 68	0.98904	0.99245	1.00186	0.99282	0.2003	91.1	67.47	16.30	47.95	131.73	24.83	9.25	1.63	9.50	20.38	3.84	6.74	1.27	158.85	29.94
36年目	H 69	0.98892	0.99239	1.00186	0.99277	0.1926	91.1	66.73	16.18	48.04	130.95	23.74	9.15	1.62	9.52	20.29	3.68	6.69	1.21	157.93	28.63
37年目	H 70	0.98880	0.99234	1.00185	0.99271	0.1852	91.1	65.99	16.06	48.13	130.18	22.69	9.05	1.60	9.54	20.19	3.52	6.64	1.16	157.01	27.37
38年目	H 71	0.98867	0.99228	1.00185	0.99266	0.1780	91.1	65.25	15.94	48.22	129.41	21.68	8.95	1.59	9.56	20.09	3.37	6.60	1.10	156.10	26.15
39年目	H 72	0.98854	0.99222	1.00185	0.99260	0.1712	91.1	64.51	15.81	48.31	128.63	20.73	8.84	1.58	9.57	20.00	3.22	6.55	1.05	155.18	25.00
40年目	H 73	0.98841	0.99216	1.00184	0.99255	0.1646	91.1	63.77	15.69	48.40	127.86	19.81	8.74	1.57	9.59	19.90	3.08	6.50	1.01	154.26	23.90
41年目	H 74	0.98827	0.99209	1.00184	0.99249	0.1583	91.1	63.03	15.57	48.49	127.09	18.93	8.64	1.55	9.61	19.81	2.95	6.45	0.96	153.34	22.85
42年目	H 75	0.98813	0.99203	1.00184	0.99244	0.1522	91.1	62.29	15.44	48.58	126.31	18.09	8.54	1.54	9.63	19.71	2.82	6.40	0.92	152.43	21.83
43年目	H 76	0.98799	0.99197	1.00183	0.99238	0.1463	91.1	61.56	15.32	48.67	125.54	17.29	8.44	1.53	9.64	19.61	2.70	6.35	0.87	151.51	20.86
44年目	H 77	0.98785	0.99190	1.00183	0.99232	0.1407	91.1	60.82	15.20	48.75	124.77	16.52	8.34	1.52	9.66	19.52	2.58	6.31	0.83	150.59	19.94
45年目	H 78	0.98770	0.99184	1.00183	0.99226	0.1353	91.1	60.08	15.07	48.84	124.00	15.79	8.24	1.51	9.68	19.42	2.47	6.26	0.80	149.67	19.06
46年目	H 79	0.98754	0.99177	1.00182	0.99220	0.1301	91.1	59.34	14.95	48.93	123.22	15.09	8.14	1.49	9.70	19.33	2.37	6.21	0.76	148.76	18.21
47年目	H 80	0.98739	0.99170	1.00182	0.99214	0.1251	91.1	58.60	14.83	49.02	122.45	14.42	8.03	1.48	9.72	19.23	2.26	6.16	0.73	147.84	17.41
48年目	H 81	0.98723	0.99163	1.00182	0.99208	0.1203	91.1	57.86	14.70	49.11	121.68	13.78	7.93	1.47	9.73	19.13	2.17	6.11	0.69	146.92	16.63
49年目	H 82	0.98706	0.99156	1.00181	0.99201	0.1157	91.1	57.12	14.58	49.20	120.90	13.16	7.83	1.46	9.75	19.04	2.07	6.06	0.66	146.01	15.90
合 計								3,732.25	878.43	2,326.93	6,937.61	2,385.91	511.71	87.73	461.17	1,060.61	361.73	359.82	124.87	8,358.04	2,872.50

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 一般国道158号 永平寺大野道路

年次	年度 (基準年) H 27	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合 計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	0.99899	0.99548	1.01547	1.00136	0.7903	91.1	60.03	14.00	26.76	100.79	74.97	7.95	1.18	4.83	13.96	10.38	5.63	4.18	120.38	89.53
1年目	H 34	0.99899	0.99546	1.01523	1.00136	0.7599	91.1	59.97	13.94	27.17	101.08	72.29	7.94	1.17	4.90	14.02	10.02	5.63	4.03	120.73	86.34
2年目	H 35	0.99898	0.99544	1.01501	1.00136	0.7307	91.1	59.91	13.88	27.58	101.37	69.71	7.93	1.17	4.98	14.08	9.68	5.64	3.88	121.09	83.27
3年目	H 36	0.99898	0.99542	1.01478	1.00135	0.7026	91.1	59.85	13.81	28.00	101.66	67.22	7.93	1.16	5.05	14.14	9.35	5.65	3.74	121.45	80.31
4年目	H 37	0.99898	0.99540	1.01457	1.00135	0.6756	91.1	59.79	13.75	28.41	101.95	64.82	7.92	1.16	5.13	14.20	9.03	5.66	3.60	121.81	77.45
5年目	H 38	0.99898	0.99538	1.01436	1.00135	0.6496	91.1	59.73	13.69	28.82	102.24	62.51	7.91	1.15	5.20	14.26	8.72	5.66	3.46	122.17	74.69
6年目	H 39	0.99898	0.99536	1.01416	1.00135	0.6246	91.1	59.67	13.62	29.24	102.53	60.27	7.90	1.15	5.28	14.32	8.42	5.67	3.33	122.53	72.02
7年目	H 40	0.99898	0.99533	1.01396	1.00135	0.6006	91.1	59.61	13.56	29.65	102.82	58.12	7.89	1.14	5.35	14.38	8.13	5.68	3.21	122.89	69.46
8年目	H 41	0.99898	0.99531	1.01377	1.00135	0.5775	91.1	59.55	13.50	30.07	103.11	56.04	7.88	1.14	5.43	14.45	7.85	5.69	3.09	123.25	66.98
9年目	H 42	0.99147	0.99369	1.00195	0.99395	0.5553	91.1	59.49	13.43	30.48	103.40	54.04	7.88	1.13	5.50	14.51	7.58	5.70	2.98	123.60	64.60
10年目	H 43	0.99140	0.99365	1.00195	0.99391	0.5339	91.1	58.98	13.35	30.54	102.87	51.69	7.81	1.12	5.51	14.44	7.26	5.66	2.84	122.97	61.79
11年目	H 44	0.99132	0.99361	1.00195	0.99387	0.5134	91.1	58.47	13.26	30.60	102.34	49.45	7.74	1.12	5.52	14.38	6.95	5.63	2.72	122.34	59.11
12年目	H 45	0.99125	0.99357	1.00194	0.99384	0.4936	91.1	57.96	13.18	30.66	101.80	47.29	7.68	1.11	5.53	14.32	6.65	5.59	2.60	121.71	56.54
13年目	H 46	0.99117	0.99353	1.00194	0.99380	0.4746	91.1	57.46	13.10	30.72	101.27	45.23	7.61	1.10	5.54	14.25	6.37	5.56	2.48	121.08	54.08
14年目	H 47	0.99109	0.99348	1.00194	0.99376	0.4564	91.1	56.95	13.01	30.78	100.74	43.27	7.54	1.09	5.55	14.19	6.09	5.52	2.37	120.45	51.74
15年目	H 48	0.99101	0.99344	1.00193	0.99372	0.4388	91.1	56.44	12.93	30.84	100.21	41.38	7.47	1.09	5.56	14.13	5.83	5.49	2.27	119.82	49.48
16年目	H 49	0.99093	0.99340	1.00193	0.99368	0.4220	91.1	55.93	12.84	30.90	99.67	39.59	7.41	1.08	5.58	14.06	5.58	5.45	2.17	119.19	47.34
17年目	H 50	0.99085	0.99335	1.00192	0.99364	0.4057	91.1	55.43	12.76	30.96	99.14	37.85	7.34	1.07	5.59	14.00	5.34	5.42	2.07	118.56	45.27
18年目	H 51	0.99076	0.99331	1.00192	0.99360	0.3901	91.1	54.92	12.67	31.02	98.61	36.20	7.27	1.07	5.60	13.94	5.12	5.39	1.98	117.93	43.30
19年目	H 52	0.99068	0.99327	1.00192	0.99356	0.3751	91.1	54.41	12.59	31.08	98.08	34.62	7.20	1.06	5.61	13.87	4.90	5.35	1.89	117.30	41.41
20年目	H 53	0.99059	0.99322	1.00191	0.99352	0.3607	91.1	53.91	12.50	31.14	97.54	33.11	7.14	1.05	5.62	13.81	4.69	5.32	1.80	116.67	39.60
21年目	H 54	0.99050	0.99317	1.00191	0.99347	0.3468	91.1	53.40	12.42	31.20	97.01	31.66	7.07	1.04	5.63	13.74	4.49	5.28	1.72	116.04	37.87
22年目	H 55	0.99041	0.99313	1.00191	0.99343	0.3335	91.1	52.89	12.33	31.26	96.48	30.28	7.00	1.04	5.64	13.68	4.29	5.25	1.65	115.41	36.22
23年目	H 56	0.99032	0.99308	1.00190	0.99339	0.3207	91.1	52.38	12.25	31.31	95.95	28.96	6.94	1.03	5.65	13.62	4.11	5.21	1.57	114.78	34.64
24年目	H 57	0.99022	0.99303	1.00190	0.99334	0.3083	91.1	51.88	12.16	31.37	95.41	27.68	6.87	1.02	5.66	13.55	3.93	5.18	1.50	114.15	33.12
25年目	H 58	0.99013	0.99298	1.00189	0.99330	0.2965	91.1	51.37	12.08	31.43	94.88	26.48	6.80	1.02	5.67	13.49	3.76	5.14	1.44	113.52	31.68
26年目	H 59	0.99003	0.99293	1.00189	0.99325	0.2851	91.1	50.86	11.99	31.49	94.35	25.31	6.73	1.01	5.68	13.43	3.60	5.11	1.37	112.89	30.29
27年目	H 60	0.98993	0.99288	1.00189	0.99321	0.2741	91.1	50.35	11.91	31.55	93.82	24.20	6.67	1.00	5.69	13.36	3.45	5.07	1.31	112.25	28.96
28年目	H 61	0.98982	0.99283	1.00188	0.99316	0.2636	91.1	49.85	11.82	31.61	93.28	23.14	6.60	1.00	5.70	13.30	3.30	5.04	1.25	111.62	27.69
29年目	H 62	0.98972	0.99278	1.00188	0.99311	0.2534	91.1	49.34	11.74	31.67	92.75	22.12	6.53	0.99	5.72	13.24	3.16	5.01	1.19	110.99	26.47
30年目	H 63	0.98961	0.99273	1.00188	0.99307	0.2437	91.1	48.83	11.65	31.73	92.22	21.15	6.47	0.98	5.73	13.17	3.02	4.97	1.14	110.36	25.31
31年目	H 64	0.98950	0.99267	1.00187	0.99302	0.2343	91.1	48.33	11.57	31.79	91.69	20.22	6.40	0.97	5.74	13.11	2.89	4.94	1.09	109.73	24.20
32年目	H 65	0.98939	0.99262	1.00187	0.99297	0.2253	91.1	47.82	11.48	31.85	91.15	19.33	6.33	0.97	5.75	13.05	2.77	4.90	1.04	109.10	23.13
33年目	H 66	0.98928	0.99256	1.00187	0.99292	0.2166	91.1	47.31	11.40	31.91	90.62	18.47	6.26	0.96	5.76	12.98	2.65	4.87	0.99	108.47	22.11
34年目	H 67	0.98916	0.99251	1.00186	0.99287	0.2083	91.1	46.80	11.32	31.97	90.09	17.66	6.20	0.95	5.77	12.92	2.53	4.83	0.95	107.84	21.14
35年目	H 68	0.98904	0.99245	1.00186	0.99282	0.2003	91.1	46.30	11.23	32.03	89.56	16.88	6.13	0.95	5.78	12.86	2.42	4.80	0.90	107.21	20.21
36年目	H 69	0.98892	0.99239	1.00186	0.99277	0.1926	91.1	45.79	11.15	32.09	89.02	16.14	6.06	0.94	5.79	12.79	2.32	4.76	0.86	106.58	19.32
37年目	H 70	0.98880	0.99234	1.00185	0.99271	0.1852	91.1	45.28	11.06	32.15	88.49	15.42	6.00	0.93	5.80	12.73	2.22	4.73	0.82	105.95	18.47
38年目	H 71	0.98867	0.99228	1.00185	0.99266	0.1780	91.1	44.78	10.98	32.21	87.96	14.73	5.93	0.92	5.81	12.66	2.12	4.70	0.79	105.32	17.64
39年目	H 72	0.98854	0.99222	1.00185	0.99260	0.1712	91.1	44.27	10.89	32.27	87.43	14.09	5.86	0.92	5.82	12.60	2.03	4.66	0.75	104.69	16.87
40年目	H 73	0.98841	0.99216	1.00184	0.99255	0.1646	91.1	43.76	10.81	32.33	86.89	13.46	5.79	0.91	5.83	12.54	1.94	4.63	0.72	104.06	16.12
41年目	H 74	0.98827	0.99209	1.00184	0.99249	0.1583	91.1	43.25	10.72	32.39	86.36	12.87	5.73	0.90	5.84	12.47	1.86	4.59	0.68	103.43	15.41
42年目	H 75	0.98813	0.99203	1.00184	0.99244	0.1522	91.1	42.75	10.64	32.45	85.83	12.29	5.66	0.90	5.85	12.41	1.78	4.56	0.65	102.80	14.72
43年目	H 76	0.98799	0.99197	1.00183	0.99238	0.1463	91.1	42.24	10.55	32.51	85.30	11.74	5.59	0.89	5.87	12.35	1.70	4.52	0.62	102.17	14.07
44年目	H 77	0.98785	0.99190	1.00183	0.99232	0.1407	91.1	41.73	10.47	32.57	84.77	11.22	5.53	0.88	5.88	12.28	1.63	4.49	0.59	101.54	13.45
45年目	H 78	0.98770	0.99184	1.00183	0.99226	0.1353	91.1	41.23	10.38	32.62	84.23	10.73	5.46	0.87	5.89	12.22	1.56	4.45	0.57	100.91	12.85
46年目	H 79	0.98754	0.99177	1.00182	0.99220	0.1301	91.1	40.72	10.30	32.68	83.70	10.25	5.39	0.87	5.90	12.16	1.49	4.42	0.54	100.28	12.28
47年目	H 80	0.98739	0.99170	1.00182	0.99214	0.1251	91.1	40.21	10.21	32.74	83.17	9.79	5.32	0.86	5.91	12.09	1.42	4.39	0.52	99.65	11.73
48年目	H 81	0.98723	0.99163	1.00182	0.99208	0.1203	91.1	39.70	10.13	32.80	82.64	9.36	5.26	0.85	5.92	12.03	1.36	4.35	0.49	99.02	11.21
49年目	H 82	0.98706	0.99156	1.00181	0.99201	0.1157	91.1	39.20	10.04	32.86	82.10	8.94	5.19	0.85	5.93	11.97	1.30	4.32	0.47	98.39	10.71
合 計								2,561.08	605.06	1,554.25	4,720.39	1,624.25	339.12	50.92	280.47	670.51	229.05	256.16	88.89	5,647.05	1,942.19

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道158号	永平寺大野道路	4	26.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	115,928	
	改良費		式	1	26,279	
		土工	m ³	10,124,600	19,660	切土(322万m ³)、盛土(490万m ³)、捨土(130万m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	507,140	2,508	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	2,721	補強土壁、L型擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	m	2,100	1,390	
	橋梁費		式	1	36,588	
		100m以上	m	9,632	36,588	連続高架橋28橋、高架橋30橋
		100m未満	m			
	トンネル費		式	1	29,454	
		NATM	m	12,402	29,454	12本(上下線)
		シールド	m			
	IC・JCT費		式	1	10,151	
		IC	箇所	7	7,351	ハーフダイヤモンド(4箇所)、平面Y型(3箇所)
		JCT	箇所	1	2,800	
	舗装費		式	1	5,846	
		車道舗装	m ²	561,174	5,846	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費		式	1	7,609	
交通管理施設工		式	1	7,609	標識工、防護柵工、道路照明等	
遮音壁		m				
②用地及補償費			式	1	18,404	
	用地費		m ²	1,456,000	13,976	
		宅地	m ²	14,560	306	
		田畑	m ²	729,460	12,246	
		山林・原野	m ²	711,980	1,424	
	補償費		式	1	4,428	
③間接経費			式	1	14,768	地質調査、測量、設計にかかる費用等
事業費合計					149,100	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道158号	永平寺大野道路	4	26.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	24,464	
	改良費		式	1	11,260	
		土工	m ³	2,675,318	9,526	切土(31万m ³)、盛土(37万m ³)、捨土(97万m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	166,628	1,409	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	207	補強土壁、L型擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	m	176	118	
	橋梁費		式	1	1,110	
		100m以上	m	4,959	1,110	連続高架橋15橋、高架橋14橋
		100m未満	m			
	トンネル費		式	1	10,523	
		NATM	m	7,930	10,523	6本(上下線)
		シールド	m			
	IC・JCT費		式	1	227	
		IC	箇所	2	227	平面Y型(2箇所)
		JCT	箇所			
	舗装費		式	1	1,128	
		車道舗装	m ²	108,289	1,128	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費		式	1	215	
交通管理施設工		式	1	215	標識工、防護柵工、道路照明等	
遮音壁		m				
②用地及補償費			式	1	35	
	用地費		m ²	775	23	
		宅地	m ²	775	23	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
補償費		式	1	12		
③間接経費			式	1	1,832	地質調査、測量、設計にかかる費用等
事業費合計					26,331	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体、残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
中部縦貫自動車道	永平寺大野道路	4	26.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	26.4	13,650	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	41,400	橋梁9.6km、トンネル12.4km等
その他	式	1	0	
維持管理費合計			55,050	

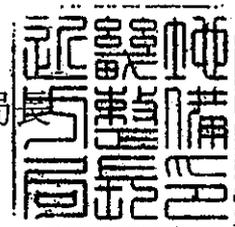


国近整企画122号

平成27年11月4日

福井県知事 殿

近畿地方整備局



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成27年11月30日(月)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成27年11月19日(木)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道158号永平寺大野道路	事業継続	

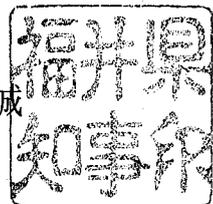
※貴県の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。



土 政 推 第 2 3 1 号
平 成 2 7 年 1 1 月 2 5 日

近畿地方整備局長 様

福井県知事 西川 一誠



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成27年11月4日付け国近整企画122号にて照会のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

- 1 一般国道158号永平寺大野道路の対応方針（原案）「事業継続」については異存ありません。

永平寺大野道路については、平成28年度の一日も早い全線開通を図られるよう、必要な予算の確保と迅速な工事の実施をお願いしたい。

大野油坂道路については、北陸新幹線の敦賀開業にあわせて平成34年度までに全線開通できるよう、必要な予算の確保をお願いしたい。

また、事業を進めるにあたり、コスト管理を厳正に行うとともに、建設発生土の利用等によるコスト縮減に最大限努めていただきたい。

2 その他の意見

(イ) 幹線道路の整備促進

福井県の幹線道路である国道8号、27号、161号、417号は、地域間交流を促進するとともに、災害時には広域的な輸送路として重要な役割を果たす道路であることから、着実に事業を推進し、早期完成を図るようお願いしたい。

(ロ) 雪害対策について

平成27年2月のような大雪に十分対応できるように、国道8号など直轄国道における除雪体制を強化するとともに、バイパス整備などの必要な措置を講じていただきたい。

(ハ) 地方への意見聴取

直轄事業負担金の負担者として、事業全体を見て判断する必要があるため、意見聴取に当たっては、今回のように個別箇所だけではなく事業全体の見通しについても意見を述べる機会とするようお願いしたい。

(ニ) 事業評価監視委員会

事業評価監視委員会の委員選定に当たっては、地方を代表する委員も選定するようお願いしたい。